



①



②

## みやこ “冬の味覚” イベントリレーがスタート!

### 第44回宮古市田老鮭・あわびまつり

11月26日、田老野球場駐車場で開催された同イベントは、多くの来場者でにぎわいました。

メインイベントのあわびとり体験では、参加者が鉤を使い器用にアワビを捕っていました。また、姉妹都市である八幡平市のブースも出店。ステージでは、宮古あばれ太鼓、福寄屋濤太衛門さん、金澤未咲さんなどが会場を盛り上げました。

中田龍斗くん（小学4年生、栃木県）は「アワビに鉤を引っ掛けるのが難しかった。炭火焼にして食べたい」とイベントを満喫していました。



③



④



⑤

八幡平市の特産品ブースは大盛況!

おいしいグルメで体の芯からぽかぽか♪

宮古うみねこ丸ペア乗船券をゲット!

※①・③→鮭・あわびまつり、②・④・⑤→鮭まつり

### 第52回宮古鮭まつり

同イベントは12月3日、宮古市魚市場で開催され、多くの来場者が訪れました。

新巻鮭やサケを使った限定のラーメンを販売するブースなどには長蛇の列が。また、目玉イベントの競り体験と大ビンゴ大会にも、多くの来場者が参加していました。

吉岡奈音さん（9、仙台市）は「サケが大好きなので、サケ料理を味わえる宮古鮭まつりはとても楽しい。ビンゴ大会でも、豪華な景品を獲得できてうれしかった」と笑顔で話しました。

【記事訂正のお知らせ】 広報みやこ12月1日号3頁「令和5年秋の叙勲受章者の紹介」記事において、次のとおり、本文内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】「国道340号は平成5年に国の廃止対象路線となった。新里村にとっては背骨のような存在だったので、何としても存続させたいと住民運動を牽引した。市と村の連携がとても上手くいった」  
⇒【正】「JR岩泉線が地域の生活路線として重要であることを訴え、住民運動を牽引したこともある。国道340号線は新里地区にとって背骨のような存在であるため、旧新里村時代から合併後まで、その整備促進のために一貫して積極的に活動したことが最も印象深い」

## 編集後記

▼山口太鼓の会・佐々木清会長を取材(3頁参照)。満員に近い客席を見た目のことを話す佐々木さんを見て、目頭が熱くなりました。「一人でも多くの人に演奏を届けたい。この強い想いに、どれだけの人が元気を貰っているか。間違いなく、私もその一人です。」(秀)

▼みやこ未来議会を取材(11頁14頁参照)。第1回のオリエンテーションから議会当日までたくさん写真を撮りました。見返すと、真剣な表情や高校生らしい笑顔など青春の一枚ばかりでした。今回の特集が高校生議員の皆様の思い出の4ページになれば嬉しいです! (憲)

▼宮古市に引っ越してきて7カ月になりました。街の飲み屋さんも10軒ほどは回ったでしょうか。どの店も美味しい料理が出てきますし、適度に話しかけてくださり、居心地が良くありがたいです。東京圏にいる友人に食べ物の写真を送ると羨ましがられます(笑)。(和)



目の不自由な方に広報などのCD(デジタル)を無料で貸し出しています(宮古音声訳の ☎兼FAX72-2537)。



耳の不自由な方など記事への問い合わせが電話だと難しい方は、市企画課広報係へファクスまたはメールで問い合わせてください。

【ファクスでの問い合わせ】

FAX63-9114

【メールでの問い合わせ】

✉info@city.miyako.iwate.jp